

令和5年度船橋小学校運営組織からの回答書

令和5年度船橋小学校学校関係者評価委員会による令和6年1月25日付「令和4年度学校関係者評価委員会提言書」により提言された12項目について、本校教職員による学校運営組織からの回答を下記のとおり取りまとめる。

記

	提言	部会	担当	回答
1	学習指導の領域の評価はおおむね良好であるが、保護者回答にやや無回答傾向がみられることから、学習・授業の進め方については、参観・保護会等での共通認識づくりに留意したい。	研究推進部 教務部	教科外	学習指導に関しては、保護者会や、個人面談、学校だより、ホームページ、校内研究発表会等において、学習、授業の進め方について保護者と共通認識をもてることを意識して行う。
2	生活指導の領域については、概ね良い傾向にある。特定項目でやや無回答傾向が目立つのは回答が難しいやや抽象的な設問であること、学校や保護者間のコミュニケーションや広報でのフォローが必要と考えられる。	生活指導部	教科外	行事、保護者会、個人面談、学校公開の機会を増やし、生活指導面で課題が見られる場合の保護者連絡を積極的に行い、学校や保護者間でコミュニケーションをとれる機会を増やしていく。
3	学校行事の領域については、きわめて良好である。	行事部	教科外	コロナ禍での行事の人数制限が解け、保護者・地域との関係が良好である。より充実した行事となるよう、行事内容・活動の改善を進めていく。
4	キャリア教育の領域は、ほかの領域と比べると不調であった。無回答が多いことからまだ十分に定着していないことをうかがわせる。	教務部 特別活動部	教科外	キャリアパスポートの活用を積極的に進めるとともに、外部と連携した学習活動や特別活動等の学習内容とキャリア教育とのつながりについて意識的に発信していく。
5	教職員の領域は、項目としてはポジティブ・ネガティブな評価両方が混在しており、やや厳しめの評価となった。教職員の執務状況は改善されておらず、体調を崩す先生が多いことが指摘されている。今後も継続して改善が求められる。	教務部	教科外	通知表の記載内容を変更したり、前年度から使用している新しい校務システムや教員用タブレット端末の有効活用を進め執務に関する作業や教員間の連絡時間の軽減を図る。
6	情報提供の領域では、ポジティブ。ネガティブ両方がみられ、特に学び舎関連の情報提供については、引き続き検討が必要と考えられる。	教務部	教務	学校行事や学校公開、保護者会、ホームページへの掲載など情報提供の機会を継続するとともに学び舎関連の情報提供も意識的に行う。
7	学校運営の領域は、概ね良好である。	教務部	教務	学校の重点目標や学校だよりのホームページの掲載を継続するとともに、学校協議会など地域と方に学校の方針や様子を伝えたり、意見をうかがえたりする機会を増やしていく。
8	家庭学校連携の領域はおおむね良好である。	教務部	教務	行事、保護者会、個人面談、学校公開の機会を増やし、課題が見られる場合の保護者連絡を積極的に行う等、学校や保護者間のコミュニケーションの機会を増やしていく。
9	地域連携の領域の評価はまずまずであるが、無回答傾向が多く注意を要する。	教務部	教務	お祭りや安全ボランティア、学校協議会など、授業における外部講師など、地域との連携できる機会を増やし、学校と地域が連携する機会を増やす。
10	安全性の領域についての評価は良好である。	生活指導部	教科外	校内でのルールや避難訓練、登下校での、児童の状況を把握し、振り返り、指導やルールの改定など実施と現状に対する振り返り、改善を継続して行っていく。